

令和5年度活動方針及び事業計画（案）

1 活動方針

令和5年10月の改正地域公共交通活性化再生法の施行を受け、今後JR小野田線活性化委員会は、JR小野田線沿線地域において、鉄道とバスが連携した持続可能な地域公共交通の形成に向けて、「JR小野田線沿線地域公共交通持続化プラン」の策定に取り組むこととしている。

そこで、令和5年度は、令和6年度以降持続化プランの具現化やターゲットに対する効果的な浸透を図るための「準備期間」と位置づけ、学識経験者や交通コンサルの協力を得ながら「持続化プラン素案」を策定するとともに、SNSを活用してJR小野田線や船木鉄道の認知度向上や関心の喚起を図る。

2 主な事業内容

(1) JR小野田線沿線地域公共交通持続化プラン（素案）の策定

本市の交通政策や公共交通の実態に造詣の深い学識経験者の指導・助言や、交通コンサルの調査・分析を通じて得られた課題や利用者ニーズ、他事例の状況等を踏まえ、活性化委員会や勉強会において、「鉄道とバスの共通乗車制度」の制度設計をはじめ具体的な対策案を検討し、持続化プランの素案を策定する。

○学識経験者報酬（40千円）

○職員調査視察旅費（100千円）

他路線の利用促進策等に関する調査視察を行う。

○JR小野田線の現状に係る調査（2,310千円）

交通コンサルに対して業務委託を行い、対象エリアにおける鉄道・バスの運行状況の現状把握や課題の抽出、利用者ニーズの整理、他事例の収集等基礎的なデータの調査を行う。

(2) SNSを活用したJR小野田線の認知度向上・関心の喚起

「JR小野田線活性化委員会公式SNS」を立ち上げ、試行的な運用を開始するなど、令和6年度以降持続化プランの具現化を図る際、効果的に利用者に浸透するよう広報環境の整備を行う。

○「JR小野田線活性化委員会公式SNS」の開設（—千円）

活性化委員会のX（旧Twitter）とInstagramを開設し、JR小野田線や船木鉄道の運行状況やサービス、利用促進イベントに係る情報等、JR小野田線沿線地域の公共交通利用者に対して効果的かつ機動的な広報を可能とする環境を整備する。

○「公式SNS」プレゼントキャンペーンの実施（450千円）

公式SNSの立ち上げに合わせ、PRチラシやポスター、地域情報誌の広告等により、広く沿線地域に周知を図るとともに、新規フォロワーに対して沿線地域の特産品等が抽選で当たるプレゼントキャンペーンを展開し、フォロワー数の拡大を図る。

○JR小野田線サポーターによる情報発信（300千円）

JR小野田線や船木鉄道利用者の中からサポーターを選定し、SNSによるJR小野田線やバスの乗車体験、車両・沿線の風景、沿線地域の人気スポット・グルメ・イベント等、利用者目線での投稿や類似した関心を持ったユーザー間での拡散を促進し、JR小野田線や船木鉄道バスの認知度向上や話題化、沿線地域の活性化を図る。

令和5年度 収支予算（案）

【収入】

（単位：千円）

項目	本年度	前年度	増減	摘要
負担金	1,000	1,000	0	沿線各市負担金 （山陽小野田市900千円、宇部市100千円）
補助金	2,300	0	2,300	山口県地方ローカル線活性化事業補助金 （地域ローカル線活性化調査支援事業（10/10））
諸収入	0	0	0	
計	3,300	1,000	2,300	

【支出】

項目	本年度	前年度	増減	摘要
会議費	40	0	40	学識経験者報酬（委員会・勉強会） （2,000円×2名×10回）
事務費	100	103	△ 3	事務局消耗品、手数料等
事業費	3,160	897	2,263	J R小野田線の現状に係る調査 （交通コンサルへの業務委託）
				職員調査視察旅費
				公式SNSプレゼントキャンペーン （沿線地域特産品代）
				公式SNSプレゼントキャンペーン （地域情報誌等広告料）
				公式SNSプレゼントキャンペーン （PRチラシ・ポスター等製作費）
				J R小野田線サポーター情報発信委託 （10,000円×10名×3ヶ月）
予備費	0	0	0	
計	3,300	1,000	2,300	